

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会

2026年度（令和8年度）の主な活動計画及び収支予算書

■ 2026年度、主な活動計画

「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」は、明治の森箕面自然休養林（箕面国有林）を中心に、自主的な活動により、同自然休養林の整備・管理、及び活用を円滑に行うことを目的として、以下の活動に取り組みます。

1、明治の森箕面自然休養林の環境整備・保全

（特に、自然景観と生物多様性の保全に配慮した森林環境の整備）

- (1) 清水谷を中心に、園地や自然研究路などにおいて、シカによる食害防止のためのネット設置と維持管理を行います。
「こもれびの森」生活環境保全林における植樹や整備活動に協力します。
- (2) 看板、道標など簡易な施設整備、及び既存施設の維持管理・修繕を行います。
園地や芝生広場でのベンチ整備を実施します。あわせて、自然研究路の利活用の改善のための施設整備を検討します。
※ベンチの新規製作と老朽化ベンチの更新
- (3) 自然休養林の適切な管理のための枝落としや間伐などの林内整備を行います。
- (4) 箕面の山パトロール隊主催による山地美化を目的とした「箕面の山大掃除大作戦」及び箕面市条例による箕面山「市民美化推進地区」の活動に協力します。

2、明治の森箕面自然休養林の活用（ソフト対策の実施に関わるもの）

- (1) 自然休養林散策のための道標（歴史・文化を含む）コースマップの作成など、活用のためのソフト対策の実施を検討します。
※インバウンド対応を検討
- (2) 構成団体による自然観察会やクリーンハイキングなど、各種イベントを継続的に実施し、自然休養林の持続的な活用強化を図ります。
- (3) 箕面ビジターセンターが行う自然観察ツアーやイベントなどの自然解説業務に協力します。
- (4) 勝尾寺園地などをフィールドとした「森林セラピー」活動に協力します。
- (5) 市民・府民のニーズにあわせて、豊かで美しい森林に対する尊敬の心をもって同休養林の新規活用に取り組みます。

3、明治の森箕面自然休養林のPR、普及啓発

- (1) 自然休養林内での活動のPR及び活用の普及啓発を目的として、ホームページ「山なみネット」などによる情報発信と協議会活動の情報公開に努めます。
- (2) 箕面市周辺で行われる各種イベントに協力し、自然休養林のPRや活用のための普及啓発を積極的に行います。
- (3) 子どもたちを対象とした箕面の豊かな自然に関する普及啓発活動を行います。
※小冊子「箕面の豊かな自然を調べよう」の作成と頒布

4、明治の森箕面自然休養林の利用者の安全対策

- (1) 利用者の安心・安全、及び美化推進を目的とした箕面の森の案内板、箕面の森の道標、箕面の森の案内図の設置・補修・維持管理活動を継続的に行います。
※設置した看板や道標の劣化などの現状把握と付け替えを検討
- (2) 自然休養林内の安心・安全に関する情報の共有化と利用者への広報に協力します。
- (3) 自然休養林内の利用者のマナー向上と適正な利用促進に協力します。

5、明治の森箕面自然休養林のサポーターの募集・選定、及び活用

- (1) 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の活動推進を前提として、サポーターの意向を踏まえつつ、サポーターから提供された資金による事業を行います。
- (2) あわせて、新規サポーターの募集・選定などを行います。

6、生物多様性の保全に向けた植生調査、希少種の保護・増殖など

- (1) 清水谷シカ害対策ネット設置後の継続的な植生調査と実験結果の検証を行います。
- (2) ネット内外の植生調査、森林衰退状況の調査、自動撮影カメラによる調査などシカの個体数管理実施にあわせて、市民ができるモニタリング調査を行います。
- (3) 生物多様性戦略の検討やシカによる食害対策の検討会を定期的に行います。

生物多様性保全のための啓発やPR・広報などを行います。

※5月24日（日）生物多様性研究フォーラムの開催に協力

(4) 草本・木本などを対象とした調査の継続、及び幼木や埋蔵種子などの確保に取り組みます。

(5) 希少種や生態系の保全に向けての取り組みを行います。保全の必要がある樹林・群落、生息地のリストアップと保全策を検討します。

※清水谷や勝尾寺園地周辺の生物多様性調査の継続と検討

(6) 管理者などへの適切な情報提供を検討し、生物多様性の保全を目的とした啓発を行います。

※生物多様性保全を目的とした啓発看板の設置を検討

7、その他、目的の達成に必要な事業

(1) 箕面森林ふれあい推進センターの事業との連携

「箕面体験学習の森」整備事業、及び「オオクワガタの棲める森づくり」事業との連携を強化します。

「花の谷」のビオトープとしての生物多様性の保全や市民に親しまれるための環境整備などの具体的な活動を実施します。

※9月29日（火）ウシガエル駆除イベントの開催に協力

(2) 市民団体・行政関係委員の積極的な情報交換、意見交換の場として、例会を定期的に開催し、活動の円滑な推進のための「情報の共有化」に注力します。

(3) 府営箕面公園（大阪府池田土木）、及びこもれびの森（箕面市公園みどり課）などの活動と情報の共有化を図り、対話と協働的な関係を構築します。

(4) 自由な意見交換の場として情報公開を努め（一部希少種の情報公開を除く）協働的な活動の担い手としての構成団体の拡充に努めます。

■ 2026年度収支予算

(収入の部)

単位：円

科目	予算額	備考
サポーター資金収入	300,000	一般財団法人日本森林林業振興会
寄付金収入	50,000	個人※清水谷の調査活動
計	350,000	

(支出の部)

単位：円

科目	予算額	備考	
事業費	285,000	1. 環境整備・保全の活動 清水谷防鹿ネット設置 ベンチ設置：5台 大掃除大作戦：1万円	0 85,000 10,000
		2. PR、普及啓発の活動	90,000
		3. 安全対策の活動 道標設置	-
		4. 生物多様性保全の活動 カメラ電池：1万円 清水谷調査活動：≒15回	10,000 50,000
		5. その他 ウシガエル駆除：1万円	10,000
		6. 予備費 道標の維持管理	30,000
管理費	90,000	その他管理費※会場使用料など NPO山麓委員会事務費	20,000 70,000
計	375,000		

前期繰越金	396,591	
当期収支差額	-25,000	
次期繰越金	371,591	